

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年03月28日

計画の名称	堺市における快適な生活環境の整備											
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	堺市											
計画の目標	本市においては、定住性の高いゆとりある快適なまちづくりをめざして、現在まで、都市の安全性・健康性・利便性などの確保に向けた都市基盤整備を行ってきたが、防災施設の整備や交通混雑の緩和など、未だ不十分な状態である。そのため、今後も継続的に整備を推進していく必要がある。本計画では、身近な緑の保全・創出や道路アクセス機能の向上など、「住んでみたい、住み続けたい」と思える良好な居住環境の整備を行うとともに防災設備の整備など、災害等による被害の軽減や防災性の向上を図ることで、快適な生活環境を実現する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	9,890	A	9,890	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	1人当たりの公園面積(用地取得後、公園整備が可能となる面積を含む)を8.29㎡(H27)から8.5㎡(H31)に増やす。 1人当たりの公園面積(用地取得後、公園整備が可能となる面積を含む)	8㎡	8㎡	8㎡

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

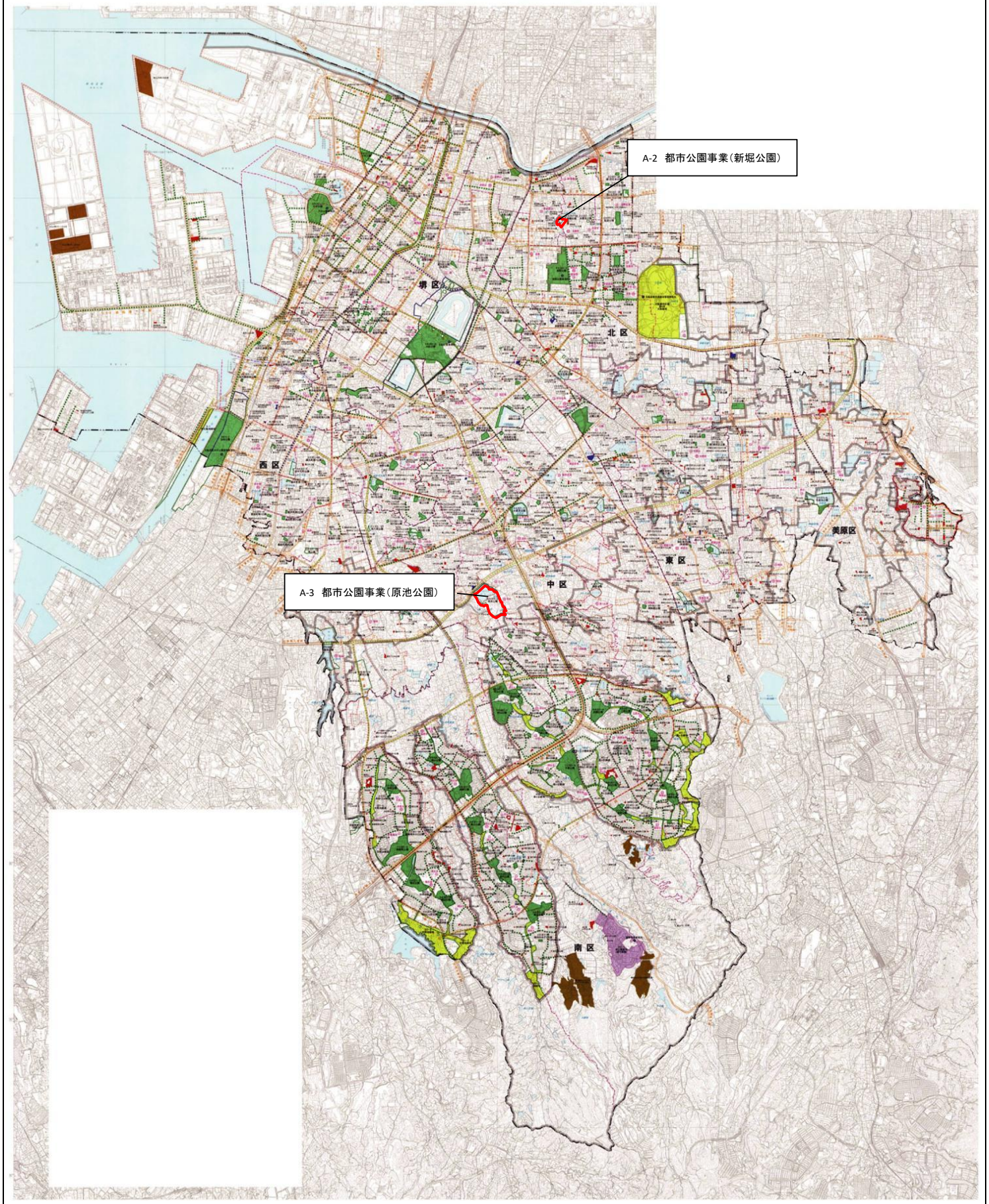
A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	堺市	直接	堺市	-	-	都市公園事業(新堀公園)	用地取得、施設整備	堺市						1,100		-
	A12-002	公園	一般	堺市	直接	堺市	-	-	都市公園事業(原池公園)	用地取得、施設整備	堺市						8,790		-
											小計						9,890		
											合計						9,890		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	138	280	425	485	620
計画別流用増 減額 (b)	84	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	222	280	425	485	620
前年度からの繰越額 (d)	15	0	70	0	0
支払済額 (e)	237	210	495	485	620
翌年度繰越額 (f)	0	70	0	0	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

計画の名称	堺市における快適な生活環境の整備	交付対象	堺市
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)		



事前評価チェックシート

計画の名称： 堺市における快適な生活環境の整備

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 堺市総合計画の方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 2) 関連する各種計画との整合性が確保されている。(都市計画マスタープラン、地域防災計画、緑の基本計画等)	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性) 1) 本市の課題を踏まえた目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性 1) 整備計画の目標と定量的指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 1) 定量的指標は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 2) 定量的指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1) 計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 2) 定量的指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 1) 十分な事業効果が確認・期待されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性) 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性) 2) 計画について住民や民間事業者等との間で合意が形成されている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性) 1) 住民等から事業実施についての要望がある。	○